



平成 22 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 小糸工業 株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 掛川 隆
 (コード番号 6 7 4 7 東証第 2 部)
 問 合 せ 先 取 締 役 若 林 秀 和
 (TEL 0 4 5 - 8 2 6 - 6 7 1 1)
 当社の親会社 株式会社 小糸製作所
 代 表 者 名 取締役社長 大嶽 昌宏
 (コード番号 7 2 7 6 東証第 1 部)

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間における特別損失計上及び業績予想値と 決算値との差異、並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月期 第 2 四半期累計期間に関しまして、特別損失の計上により平成 22 年 7 月 23 日に公表いたしました業績予想値(連結・個別)と本日公表の決算値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 7 月 23 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期 通期の業績予想(連結・個別)について下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の航空機シート部門における納入遅延の問題につきましては、得意先との間において解約、他社からの調達等の措置を図り、その解決に鋭意努めてまいりましたが、なお長期化する見通しであります。

これに伴い、得意先への損害賠償や違約金等の発生が今後予想されることから、損害賠償引当金繰入額 6,779 百万円を計上いたしました。

また、当期間において解約となった航空機シートの棚卸資産について、たな卸資産評価損 1,422 百万円を計上いたしました。

2. 第 2 四半期累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）業績予想値と決算値の差異について

(1) 差異の内容

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,000	百万円 △500	百万円 △3,000	百万円 △5,500	円 銭 △132.60
今回実績(B)	19,090	△126	△2,543	△11,533	△278.06
増減額(B-A)	△910	374	457	△6,033	—
増減率(%)	△4.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	18,970	△813	△1,006	△881	△21.26

－ 2. 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,800	百万円 △1,200	百万円 △3,600	百万円 △5,700	円 銭 △137.42
今回実績(B)	15,882	△597	△2,832	△11,537	△278.16
増減額(B-A)	△918	603	768	△5,837	—
増減率(%)	△5.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	15,656	△1,581	△1,479	△940	△22.66

(2) 差異の理由

売上高は、公共事業向け売上の下期繰り下げや、航空機シート部門の出荷遅れなどから、前回発表予想に対し減収となりました。

利益につきましては、徹底した原価低減及び諸費用削減により、減収ながら営業利益・経常利益は改善いたしました。四半期純利益におきましては、特別損失の計上により前回発表予想に対しまして悪化いたしました。

3. 平成23年3月期 通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日) 予想数値の修正について

(1) 修正の内容

－ 1. 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,000	百万円 900	百万円 △4,000	百万円 △8,800	円 銭 △212.16
今回修正予想(B)	54,200	1,400	△3,000	△15,900	△383.34
増減額(B-A)	2,200	500	1,000	△7,100	—
増減率(%)	4.2	55.6	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	51,520	3,077	402	△10,764	△259.51

－ 2. 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,000	百万円 △700	百万円 △5,500	百万円 △9,400	円 銭 △226.63
今回修正予想(B)	45,900	40	△4,100	△16,500	△397.80
増減額(B-A)	900	740	1,400	△7,100	—
増減率(%)	2.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	44,271	1,425	△957	△11,283	△272.03

(2) 修正の理由

売上高は、鉄道車両機器、照明・情報システム、交通システムの各部門及び子会社において販売増が見込まれ、前回発表予想を上回る見通しであります。

利益につきましては、営業利益が上期での改善に加え、原価低減活動の強化や増収効果もあり増益、経常利益は、航空事業安全対策費が前回予想に対し減少する見込みであり、増益となる見通しであります。当期純利益におきましては、航空機シート事業に係わる特別損失計上などにより、前回発表予想に対し悪化する見通しであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上